

東京都中体連 79 年間のあゆみ

(昭和 22 年度～令和 7 年度)

昭和 22 年度・都中体連結成、発足

- 松田、長沼、粕谷、川瀬、古梶、荒井、坂田諸氏の発意により、11 月 1 日結成。
- ・初代理事長に野口彰氏就任。

昭和 23 年度・都中学校体育指導者連盟初代理事長松田利次氏就任。

- ・都中体連の事業は保健体育の研究活動からと、結成の精神を顕現し、代々木中学校で授業研究を公開する。
- ・陸上競技、野球、ハンドボール、卓球、排球、籠球、水泳、ラグビー発足。

昭和 24 年度・競技会開催の方針を年 3 回と決定する。

- ・庭球、体操、ダンス発足。

昭和 25 年度・第 1 回ジュニアレクリエーション大会参加。全国中体連結成を呼びかける。

- ・ソフト部発足。

昭和 26 年度・都中学校体育指導者連盟第 2 代理事長に山岡二郎氏就任。

- ・第 2 回ジュニアレクリエーション大会（東京大会）実施。
- ・サッカー、柔道部発足。

昭和 27 年度・研究活動充実発展の年。発足 5 周年記念会報の発行、保健委員会の研究発表（宮前中、中野二中、国立中）。都中体連ニュース発行。

- ・加盟校は連盟費 250 円を納付、各部部費 200 円以内を別に納付。

昭和 28 年度・関東地区保健体育協議会に参加。

- ・腰越海岸に臨海学校開設。
- ・しな部発足。

昭和 29 年度・関東中体連協議会結成。

- ・都中学校体育指導者連盟第 3 代理事長に長沼誠氏就任。
- ・スポーツ用品等の推せん、公認制を採択する。
- ・「学徒の対外競技参加の方針」文部次官通達公布される。これらに先だち慎重に検討し、対外試合は都内大会に止むべき方針を決定する。

昭和 30 年度・全国中体連を結成する。

- ・放送陸上、通信水泳大会を実施する。
- ・保健体育研究会を開催（岩淵中）。
- ・バドミントン部発足。

昭和 31 年度・機構改革。初代会長に竜沢良芳氏就任。第 2 代理事長に山岡二郎氏就任。

- ・第 1 回関東中体連保健体育研究協議会を開催（志村一中）。

昭和 32 年度・都中体連発足 10 周年、記念誌を発行する。

- ・連盟会費 1 校 300 円。

昭和 33 年度・都中体連ニュース「50 号」で一応発行を中止する。

- ・第 3 回 A G 大会の公開演技に出場。並びに団体入場係の派遣に協力する。

昭和 34 年度・第 2 代会長に平良恵路氏就任。

- ・第 4 回関東地区保健体育研究協議会の開催（中野一中）。

昭和 35 年度・オリンピック東京大会開催の決定に伴い、学校体育もスポーツ大会行事に追われる傾向が現れ、都中体連は注意を喚起。

- ・すもう部新設、17 部となる。

昭和 36 年度・規約改正。研究活動の推進体制を整え、担当副理事長 1 名増員。

昭和 37 年度・第 3 代会長に沢畑泰二氏就任。

- ・第 1 回東京都中学校総合体育大会を実施する。
- ・連盟会費 1 校 300 円。

昭和 38 年度・都中体連発足 15 周年記念会報発行。

- ・都総合体育大会を区部、多摩地区に分ける。

昭和 39 年度・オリンピック東京大会の開催。各方面に都中体連が協力する。

- ・「体力づくり」を主題として研究大会開催（戸塚一中）。

昭和 40 年度・第 4 代会長に幸田勝氏就任。

- ・第 4 回全国学校研究連合東京大会を開催（戸塚一中）。
- ・研究集録「体育文化遺産と今日的傾向」発刊。研究発表（中野富士見中）。

昭和 41 年度・第 3 代理事長に大沢亨氏就任。

- ・都中学校総合体育大会を都教委、校長会の主催とし、中体連が主管団体となる。
- ・研究集録「調和と自主研究の推進」発行。研究発表（雑司谷中）。

昭和 42 年度・発足 20 周年記念式典及び記念誌発行。

- ・「体力づくり」研究発表（葛飾区立奥戸中、品川区立日野中）。

昭和 43 年度・第 5 代会長に福島恒春氏就任。

- ・全国中学校水泳大会東京大会実施。
- ・「体育の学習指導の実践」研究発表（雑司谷中）。

昭和 44 年度・関東中体連保健体育研究協議会（東京大会）を開催（オリンピック青少年スポーツセンター）。
・「格技の指導法（剣道）」研究発表（貝塚中）。

昭和 45 年度・理事長大沢亨先生急逝。大沢亨先生追悼「会報」発行。
・全国大会（5 種目）、関東大会（4 種目）始まる。
・「児童生徒の運動競技について」の次官通達改正。
・「クラブ活動の指導」研究発表（羽村一中）。

昭和 46 年度・第 6 代会長に新井吉之丞氏就任。第 4 代理事長に宮内宏氏就任。
・都中学校総合体育大会の期日を 5 月より 7 月に変更、選手権大会を兼ねて実施。
・次官通達をめぐり、学校体育と社会体育との関係について研究を始める。
・「特性に応じた指導」研究発表（千川中）。「体操の指導」研究発表（四ツ木中）。
・全国大会 5 種目、関東大会 2 種目追加される。

昭和 47 年度・発足 25 周年記念式典（岸体育館）及び記念誌を発行する。
・指導要領改訂、必修クラブ活動始まる。
・「特性に応じた指導」研究発表（千川中）。「球技の指導」研究発表（文京五中）。
・加盟費 1,000 円

昭和 48 年度・第 7 代会長に片寄八千雄氏就任。第 5 代理事長に長沼誠氏就任。
・大会参加費、加盟費を改正する。
・「教育機器の活用による指導法」研究発表（高砂中）。

昭和 49 年度・「体操による体力づくり」研究発表（東蒲中）。「体育における評価」研究発表（開進一中）。
・本部費 1 校 2,000 円に値上げする。
・本部組織改正。

昭和 50 年度・第 14 回部総会の運営を変え選手権大会と切り離す。
・都中体連バッチテスト要項完成、実施に進む。
・全国学校体育研究大会（東京大会）を開催。王子中、高砂中で公開授業。

昭和 51 年度・第 8 代会長に長沼誠氏就任。第 6 代理事長に川口一夫氏就任。
・関東大会 4 種目追加開催。
・部費 1,000 円に値上げする。

昭和 52 年度・第 9 代会長に川口一夫氏就任。第 7 代理事長に酒井一九氏就任。
・発足 30 周年記念行事及び記念誌を発行する。
・第 11 回全国女子体育研究大会を東京で開催（都中体連主管）。
・連盟費 2,000 円。

昭和 53 年度・第 10 代会長に富田武忠氏就任。第 8 代理事長に黒木呉氏就任。

- ・関東中学生競技大会が教育活動として再出発する。

昭和 54 年度・第 11 代会長に大高正夫氏就任。

- ・関東中体連保健体育研究協議会（東京大会）を開催（オリンピック青少年スポーツセンター）。
- ・「集団スポーツの指導（ハンドボール）」公開授業（笹塚中）。
- ・「地域ぐるみの体育指導と体育実践」研究発表（三宅中、坪田中）。
- ・全国学校体育研究大会（東京大会）を開催。全体会を普門館、公開演技を日体大・国士館大で行う。
- ・文部次官通知「児童生徒の運動競技の基準」改正が出された（54.4.5 文体体 81）。

昭和 55 年度・第 9 代理事長に日和佐亮氏就任。

- ・「授業研究」研究奨励校（福生一中）。
- ・「自ら考え、判断し、行動する保健体育学習の展開」研究協力校の発表（中村中）。

昭和 56 年度・第 12 代会長に館野正義氏就任。

- ・事務局（広尾中）電話架設（5 月 407-3662）。
- ・「心とからだの健康づくり」研究奨励校の発表（板橋一中）。
- ・「自ら考え、判断し、行動する保健体育学習の展開」研究協力校の発表（中村中）。

昭和 57 年度・第 13 代会長に原島信義氏就任。

- ・新体操部発足。
- ・「心とからだの健康づくり」研究協力校の発表（雪谷中）。

昭和 58 年度・第 14 代会長に芳賀利正氏就任。

- ・事務局（松濤中）電話架設（485-5978）。
- ・3 年継続検討の会費値上げ決定（昭和 59 年より実施）。

昭和 59 年度・第 15 代会長に鈴木誠太郎氏就任。

- ・第 23 回東京都中学校総合体育大会を実施（区部、多摩統合する）。
- ・「心とからだの健康づくり」研究奨励校発表（両国中）。
- ・本部費 3,000 円、部費 2,000 円に値上げ。

昭和 60 年度・第 16 代会長に福島直吉氏就任。第 10 代理事長に後藤敏夫氏就任。

- ・「豊かな心、たくましい体について」研究協力校の発表（北区立桜田中）。
- ・第 2 回全国中体連研究発表会（都中体連主管）生涯体育、部活動。

昭和 61 年度・「心とからだの健康づくり」奨励校発表（千早中）。

- ・事務局（本町中）電話架設（376-9950）。
- ・全国中体連選抜体育大会（バレーボール、陸上競技、相撲）を実施する。
- ・第 3 回都中体連研究大会を実施する（青山会館）。
- ・スキー部、スケート部加盟。

- ・規約改定。区市郡島に支部を置く（多摩地区中体連については23区と同じように各市、西多摩郡に支部長及び地区責任理事、地区理事、研究部理事を設置）。
- ・規約改定。各専門部に顧問（校長）を置く。

昭和62年度・第17代会長に並木昌一郎氏就任。

- ・「心とからだの健康づくり」奨励校発表（銀座中）。
- ・11月17日創立40周年記念式典並びに第1回都中体連研究大会を開催。

昭和63年度・第18代会長に井上輝夫氏就任。

- ・第33回関東中体連保健体育研究協議会（東京大会）を開催（大島）。
- ・第2回都中体連研究大会を開催。「生涯体育を指向した部活動のあり方」
- ・「心とからだの健康づくり」奨励校発表（金町中）。

平成元年度・第19代会長に太田秀氏就任。

- ・（財）日本中学校体育連盟設立祝賀会を開催（都中体連主管）。
- ・事務局を渋谷区丸山町14-3日興パレスビル渋谷506に設置。
- ・武道推進研究奨励校発表（松ノ木中）。
- ・保健体育科研究奨励校発表（入谷中）。
- ・体力づくり研究奨励校発表（金町中）。
- ・第3回都中体連研究大会を開催。「生涯体育を指向した部活動のあり方」

平成2年度・第20代会長に中西朗氏就任。

- ・加盟費等値上げ決定（平成2年度より実施）。
- ・本部加盟費4,500円。
- ・第4回都中体連研究大会を開催。「生涯体育を指向した部活動のあり方」
- ・体力づくり研究奨励校発表（東陽中）。

平成3年度・会長選出について、都校長会と都中体連との間に確認書を取り交わし、都中体連の組織内から会長を選出することになった。

- ・中西朗氏会長辞任。組織内会長として後藤敏夫氏就任。
- ・第11代理事長に落合喜孝氏就任。
- ・都中学校総合体育大会30回記念事業として「生徒意見発表会」を行う。
- ・「心とからだの健康づくり」研究奨励校発表（松濤中）。
- ・21世紀を指向した都中体連3カ年実施計画作成のため、財政・競技・研究検討委員会を設置する。
- ・第5回都中体連研究大会を開催。「生涯体育を指向した部活動のあり方」

平成4年度・体力づくり研究奨励校発表（東陽中）。

- ・第21代会長に吉村英雄氏就任。
- ・体力づくり研究奨励校発表（東村山二中）。
- ・体育活動の充実研究奨励校発表（荒川支部）。
- ・第6回都中体連研究大会を開催。「生涯体育を指向した部活動のあり方」

平成5年度 ・「各運動の基礎・基本の徹底と個性・創造性の育成を図る体育活動の推進」都中体連研究奨励校発表（荒川四中）。
・第7回都中体連研究大会を開催。「生涯体育を指向した部活動のあり方」
・第22代会長に池田熙氏就任。第12代理事長に月岡透氏就任。
・臨時競技部長会「大会参加費と競技部の運営経費について」

平成6年度 ・東京都女子体育連盟創立40周年記念大会「育み合おう、感じる心を」（日体大）。
・関東中学校体育大会東京開催（柔道、ハンドボール）。
・「自らが学習課題をもち、意欲的に運動を実践する生徒の育成」都中体連研究奨励校発表（武蔵野四中）。
・「生き生きと学習課題に取り組みやり抜く生徒の育成」都中体連研究奨励校発表（町田一中）。
・第8回都中体連研究大会「生涯体育を指向した部活動のあり方」（剣道、ソフトボール、研究部）を開催。
・競技部加盟費 3,000 円
大会参加費 団体 3,000 円 個人 500 円 ダブルス 700 円 リレー1,000 円

平成7年度 ・第23代会長に板橋弘徳氏就任。
・関東中学校体育大会東京開催（サッカー、陸上競技、バドミントン）。
・全国中学校体育大会東京開催（水泳、新体操、相撲）。
・「生き生きと活動する生徒の育成」都中体連研究奨励校発表（金町中）。
・第9回都中体連研究大会「生涯体育を指向した部活動のあり方」（ハンドボール、サッカー、研究部）を開催。
・臨時競技専門部長会「外部指導者導入について」。

平成8年度 ・関東中学校体育大会東京開催（卓球、ソフトボール）。
・第41回関東中学校保健体育研究協議会東京大会「生涯にわたって、体育・スポーツに親しむ生徒の育成」（武蔵野二中）。
・第10回都中体連研究大会「生涯体育を指向した部活動のあり方」（東書ホール）を開催。
・第3回理事会「学校教育法83条の各種学校生徒の都大会参加について」。
・各支部を12地区（12は島しょ）に編成。
・本部加盟費 6,000 円、各部登録費 4,000 円に値上げ。
参加費 団体1チーム 5,000 円まで 個人1人 600 円まで
ダブルス1組 700 円まで リレー1チーム 2,000 円まで

平成9年度 ・第24代会長に月岡透氏就任。第13代理事長に星正雄氏就任。
・関東中学校体育大会東京開催（相撲、バレーボール）。
・第11回都中体連研究大会「生涯体育を指向した部活動のあり方」（豊島区立男女平等センター）「生涯にわたって意欲的に運動に取り組む生徒の育成」を開催。
・創立50周年記念式典、祝賀会 「都中体連 功労者表彰」（東方會館）を開催。
・関東中学校体育大会東京大会（駅伝）。

- ・事務局移転（平成10年3月24日より豊島区立池袋中学校へ）。
- ・ブロック制（11ブロック、島しょはブロックとせず従来の支部）完全実施に向けて検討、部により実施。

平成10年度・関東中学校体育大会東京開催（バスケットボール、ソフトテニス、水泳）。

- ・第12回都中体連研究大会（豊島区立生活産業プラザ）「生涯にわたって意欲的に運動に取り組む生徒の育成」を開催。
- ・「一人一人が主体的に取り組む部活動のあり方」都中体連奨励校（国分寺市立第一中学校 平成9・10年度）。

平成11年度・第25代会長に三辻陽夫氏就任。第14代理事長に足立和明氏就任。

- ・関東中学校体育大会東京開催（軟式野球）。
- ・第13回都中体連研究大会（雑司が谷社会教育会館）「生涯にわたって意欲的に運動に取り組む生徒の育成」。
- ・「生徒一人一人の人格の向上と豊かな自己実現を目指して～武道（柔道）指導の実践を通して～」都中体連研究奨励校（北区立岩淵中学校 平成10・11年度）。
- ・ブロック制（11ブロック、島しょはブロックとせず従来の支部）完全実施。

平成12年度・関東中学校体育大会東京開催（陸上競技）。

- ・第14回都中体連研究大会（新宿コズミックセンター）「生涯にわたって意欲的に運動に取り組む生徒の育成」。
- ・「体力づくり」都中体連研究奨励校（大田区立大森第八中学校 平成11・12年度）。

平成13年度・関東中学校体育大会東京開催（体操、新体操、剣道）。

- ・第18回日本中体連研究大会（豊島公会堂、サンシャインホテル）1月17・18日。
- ・第15回都中体連研究大会（国立オリンピック記念青少年総合センター）「自ら運動する意欲を培い、生涯にわたって積極的に運動に親しむ生徒の育成」。
- ・「課題解決学習を目指したTTによる選択制授業の在り方」都中体連研究奨励校（世田谷区立松沢中学校 平成12・13年度）。

平成14年度・第26代会長に原望氏就任。第15代理事長に菊山直幸氏就任。

- ・関東中学校体育大会東京開催（柔道、サッカー、ハンドボール）。
- ・第16回都中体連研究大会（豊島区民センター）「自ら運動する意欲や、健康の保持増進の基礎を培い、生涯にわたって運動に親しみ、健康な生活習慣を身につけた生徒の育成」。
- ・「生徒が自ら課題に主体的に取り組む体力づくり」都中体連研究奨励校（小金井市立東中学校 平成13・14年度）。

平成15年度・第17回都中体連研究発表会（豊島区民センター）「自ら運動する意欲や、健康の保持増進の基礎を培い、生涯にわたって運動に親しみ、健康な生活習慣を身につけた生徒の育成」。

- ・関東中学校体育大会東京開催（バドミントン）。
- ・「運動部活動の活性化について」都中体連研究奨励地区（板橋区 平成14・15年度）。

平成16年度・4月18日 第26代会長原望氏逝去。

- ・5月25日 第27代会長に塩田壽久氏就任。
- ・関東中学校体育大会東京開催（ソフトボール、卓球）。
- ・全国中学校体育大会東京開催（バスケットボール、体操競技、相撲）。
- ・第49回関東中学校保健体育研究協議会 10月14・15日（豊島区東京芸術劇場、豊島区立千登世橋中学校 他）「自ら運動する意欲や、健康の保持増進の基礎を培い、生涯にわたって運動に親しみ、健康な生活習慣を身につけた生徒の育成」。
- ・第18回都中体連研究大会（豊島区民センター）
- ・「豊かなスポーツライフを支える体力づくり」都中体連研究奨励校（西東京市立保谷中学校 平成15・16年度）。
- ・東京都女子体育連盟創立50周年記念大会（小石川高校）。

平成17年度・第28代会長に足立和明氏就任。

- ・関東中学校体育大会東京開催（相撲、バレーボール、駅伝競走）。
- ・都中学校総合体育大会ラグビーフットボール大会開始。
- ・第19回都中体連研究大会（豊島区豊島清掃事務所）「自ら運動する意欲や、健康の保持増進の基礎を培い、生涯にわたって運動に親しみ、健康な生活習慣を身につけた生徒の育成」。
- ・「学校教育における部活動の役割」都中体連研究奨励校（練馬区立中村中学校 平成16・17年度）。

平成18年度・関東中学校体育大会東京開催（バスケットボール、ソフトテニス、水泳）。

- ・第20回都中体連研究大会（豊島区豊島清掃事務所）「自ら運動する意欲や、健康の保持増進の基礎を培い、生涯にわたって運動に親しみ、健康な生活習慣を身につけた生徒の育成」。
- ・「学校教育における今後の部活動のあり方～地域の企業等との連携を通して～」都中体連研究奨励校（府中市立府中第二中学校 平成17・18年度）。

平成19年度・第16代理事長に熊沢直孝氏就任。

- ・関東中学校体育大会東京開催（軟式野球）。
- ・第21回都中体連研究大会（豊島区立明豊中学校）「自ら運動する意欲や、健康の保持増進の基礎を培い、生涯にわたって運動に親しみ、健康な生活習慣を身につけた生徒の育成」。
- ・「コーディネーショントレーニングを取り入れた授業展開・部活動～身体能力を高めながら、技術向上につなげる～」都中体連研究奨励校（足立区立足立第八中学校 平成18・19年度）。
- ・創立60周年記念式典、祝賀会「都中体連 功労者表彰」（ホテルフロラシオン青山）。

平成 20 年度・関東中学校体育大会東京開催（陸上競技）。

- ・第 22 回都中体連研究大会（豊島区立明豊中学校）「自ら運動する意欲や、健康の保持増進の基礎を培い、生涯にわたって運動に親しみ、健康な生活習慣を身につけた生徒の育成」。
- ・「学力・人間力・社会力をはぐくむ小中一貫教育の充実に向けて～わかる喜びが、自信に変わる学びをめざして～」都中体連研究奨励校（三鷹市立三鷹学園（三鷹市立第六中学校） 平成 19・20 年度）。

平成 21 年度・第 29 代会長に熊沢直孝氏就任。第 17 代理事長に渡辺政義氏就任。

- ・規約改定。組織 総務（広報）、会計、研究、競技の委員会を置く。
- ・関東中学校体育大会東京開催（体操競技、新体操、剣道）。
- ・第 23 回都中体連研究大会（武蔵野市立第二中学校）「自ら運動する意欲や、健康の保持増進の基礎を培い、生涯にわたって運動に親しみ、健康な生活習慣を身につけた生徒の育成」。
- ・「運動部活動の活性化～体力、学力、意欲向上との関連～」都中体連研究奨励校（武蔵村山市立第四中学校 平成 20・21 年度）。

平成 22 年度・関東中学校体育大会東京開催（柔道、ハンドボール）。

- ・第 24 回都中体連研究大会（武蔵野市立第二中学校）「主体的の運動に取り組み、健康の保持増進や体力の向上を図り、生涯にわたって明るく豊かな生活を営む態度を身に付けた生徒の育成」。
- ・「新学習指導要領の改訂にともなう指導方法の工夫～男子生徒を対象としたダンス指導の在り方～」都中体連研究奨励校（練馬区立豊玉中学校 平成 21・22 年度）。

平成 23 年度・第 30 代会長に渡辺政義氏就任。第 18 代理事長に大河原嘉朗氏就任。

- ・関東中学校体育大会東京開催（サッカー、バドミントン）。
- ・第 25 回都中体連研究大会（練馬区立光が丘第三中学校）「主体的に運動に取り組み、健康の保持増進や体力の向上を図り、生涯にわたって明るく豊かな生活を営む態度を身に付けた生徒の育成」。
- ・「新学習指導要領の改訂にともなう指導方法の工夫～女性教員による女子生徒を対象とした武道（柔道）指導の在り方～」都中体連研究奨励校（武蔵村山市立第一中学校 平成 22・23 年度）。

平成 24 年度・関東中学校体育大会東京開催（卓球、ソフトボール）。

- ・全国中学校体育大会東京開催（バレーボール、相撲、新体操）。
- ・第 57 回関東中学校保健体育研究協議会 10 月 19 日（ホテルフロラシオン青山）
「自ら運動する意欲や、健康の保持増進の基礎を培い、生涯にわたって運動に親しみ、健康な生活習慣を身につけた生徒の育成」。
- ・第 26 回都中体連研究大会（練馬区立中村中学校）「主体的に運動に取り組み、健康の保持増進や体力の向上を図り、生涯にわたって明るく豊かな生活を営む態度を身に付けた生徒の育成」。
- ・「新学習指導要領に伴う指導法の工夫～体づくり運動の必要性和ねらいを明確にした実践～」都中体連研究奨励校（中野区立第十中学校 平成 23・24 年度）。

平成 25 年度・関東中学校体育大会東京開催（バレーボール、相撲）。

- ・全国中学校体育大会東京開催（アイスホッケー）。
- ・第 27 回都中体連研究大会（練馬区立中村中学校）「主体的に運動に取り組み、健康の保持増進や体力の向上を図り、生涯にわたって明るく豊かな生活を営む態度を身に付けた生徒の育成」。
- ・「生きる力を育む授業（相撲）を目指して～仲間とのかかわりを通して、技能を高める授業づくり～」都中体連研究奨励校（武蔵野市立第六中学校 平成 24・25 年度）。

平成 26 年度・関東中学校体育大会東京開催（バスケットボール、駅伝競走）。

- ・第 28 回都中体連研究大会（練馬区立中村中学校）「主体的に運動に取り組み、健康の保持増進や体力の向上を図り、生涯にわたって明るく豊かな生活を営む態度を身に付けた生徒の育成」。
- ・「生徒の意欲学習意欲を高める指導・評価の工夫～特にマット運動・跳び箱運動における小学校との連携を中心として～」都中体連研究奨励校（世田谷区立東深沢中学校 平成 25・26 年度）。
- ・東京都女子体育連盟創立 60 周年記念大会（都立大江戸高校）。

平成 27 年度・第 31 代会長に大河原嘉朗氏就任。第 19 代理事長に新宮領毅氏就任。

- ・関東中学校体育大会東京開催（水泳、軟式野球、ソフトテニス）。
- ・第 29 回都中体連研究大会（板橋区教育支援センター）「主体的に運動に取り組み、健康の保持増進や体力の向上を図り、生涯にわたって明るく豊かな生活を営む態度を身に付けた生徒の育成」。
- ・「9 年間を見通した体力向上の取組～真の学力を伸長する小中一貫教育～」都中体連研究奨励校（八王子市立第六中学校 平成 26・27 年度）。
- ・第 49 回全国女子体育研究大会（葛飾区立金町中学校、ティアラこうとう）。

平成 28 年度・関東中学校体育大会東京開催（陸上競技）。

- ・第 30 回都中体連研究大会（板橋区教育支援センター）「主体的に運動に取り組み、健康の保持増進や体力の向上を図り、生涯にわたって明るく豊かな生活を営む態度を身に付けた生徒の育成」。
- ・「生徒の意欲を高める部活動の推進～適切な指導方法の工夫と運動部活動における体力づくりの実践～」都中体連研究奨励校（板橋区立赤塚第一中学校 平成 27・28 年度）。
- ・大会参加費上限の値上げ
団体 1 チーム 7,000 円まで 個人 1 人 1,000 円まで
ダブルス 1 組 1,500 円まで リレー 1 チーム 3,000 円まで

平成 29 年度・第 32 代会長に新宮領毅氏就任。第 20 代理事長に平本浩実氏就任。

- ・関東中学校体育大会東京開催（体操競技、新体操、剣道）。
- ・第 31 回都中体連研究大会（板橋区教育支援センター）「主体的に運動に取り組み、健康の保持増進や体力の向上を図り、生涯にわたって明るく豊かな生活を営む態度を身に付けた生徒の育成」。

- ・「生徒の自己有用感（自尊感情を高めるオリ・パラ教育のあり方）～教科横断的な視野を取り入れた教育活動の実践を通して～」都中体連研究奨励校（足立区立千寿桜堤中学校 平成 28・29 年度）。

平成 30 年度・関東中学校体育大会東京開催（ハンドボール、柔道）。

- ・第 32 回都中体連研究大会（板橋区教育支援センター）「主体的に運動に取り組み、健康の保持増進や体力の向上を図り、生涯にわたって明るく豊かな生活を営む態度を身に付けた生徒の育成」。
- ・「生涯スポーツにつながる系統的な長距離走指導及び評価の工夫～3 年間を見通した主体的・対話的で深い学びの授業実践～」都中体連研究奨励校（立川市立第九中学校 平成 29・30 年度）。

令和元年度・第 33 代会長に平本浩実氏就任。第 21 代理事長に佐藤浩氏就任。

- ・事務局員 3 名（昨年度まで非常勤職員 2 名、臨時職員 1 名）が都中体連独自の雇用となる。
- ・関東中学校体育大会東京開催（サッカー、バドミントン）。
- ・第 33 回都中体連研究大会（板橋区教育支援センター）「主体的に運動に取り組み、健康の保持増進や体力の向上を図り、生涯にわたって明るく豊かな生活を営む態度を身に付けた生徒の育成」。
- ・「生涯にわたる健康の保持増進に向けた保健分野における授業の工夫改善～主体的・対話的で深い学びの授業実践～」都中体連研究奨励校（大田区立御園中学校 平成 30・令和元年度）。
- ・本部加盟費 9,000 円、各部登録費 4,650 円に値上げ。

令和 2 年度・第 22 代理事長に大塚洋一氏就任。

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、春季体育大会、東京都中学校総合体育大会（夏季大会）中止。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全国中学校体育大会（夏季大会・駅伝大会・冬季大会）、関東中学校体育大会（夏季大会）中止。関東中学校体育大会（駅伝大会）のみ実施。
- ・東京都教育委員会研究推進団体に承認される。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第 65 回関東中学校保健体育研究協議会東京大会（東京ガーデンパレス）中止。研究紀要を作成し、紙上発表を行った。
- ・第 34 回都中体連研究大会（会場確保せず）「主体的に運動に取り組み、健康の保持増進や体力の向上を図り、生涯にわたって明るく豊かな生活を営む態度を身に付けた生徒の育成」。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、紙上発表を行った。
- ・「豊かなスポーツライフの実現につながる授業の工夫～仲間と共に課題発見・解決を図る器械運動の指導について～」都中体連研究奨励校（清瀬市立清瀬第五中学校 令和元・2 年度）新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、紙上発表を行った。
- ・事務局移転（令和 3 年 3 月 16 日より東京都教職員研修センターへ）。

- 令和3年度
- ・第34代会長に大塚洋一氏就任。第23代理事長に金子哲朗氏就任。
 - ・7月～9月に新型コロナウイルス感染拡大の第5波が訪れるが、感染拡大防止ガイドラインに則って東京都中学校総合体育大会、関東中学校体育大会、全国中学校体育大会（夏季大会・関東ブロック）を開催した。東京都中学校総合体育大会の総合開会式は中止。全国中学校体育大会（冬季大会）アイスホッケー大会は中止。
 - ・関東中学校体育大会東京開催（バレーボール、卓球、ソフトボール）。
 - ・全国中学校体育大会東京開催（相撲、新体操）。
 - ・第35回都中体連研究大会（世田谷区立三宿中学校）「主体的・対話的で深い学びを通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力・態度の育成」。
 - ・「身体の動きを意識し、自ら運動に取り組む生徒の育成～学習効果を高める指導内容の工夫と改善～」都中体連研究奨励校（世田谷区立桜木中学校 令和2・3年度）。

- 令和4年度
- ・7月～8月に新型コロナウイルス感染拡大の第7波により過去最高の感染者数を記録したが、感染拡大防止ガイドライン（改訂版）に則ってすべての大会を開催した。東京都中学校総合体育大会の総合開会式は中止。
 - ・関東中学校体育大会東京開催（相撲、バスケットボール、ソフトテニス、テニス（準加盟）、駅伝競走）
 - ・第36回都中体連研究大会（江東区立亀戸中学校）「主体的・対話的で深い学びを通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力・態度の育成」。
 - ・「生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質・能力の育成～すべての生徒が運動やスポーツの多様な楽しみ方を味わえる授業の工夫～」都中体連研究奨励校（杉並区立井荻中学校 令和3・4年度）。

- 令和5年度
- ・第35代会長に金子哲朗氏就任。第24代理事長に小川高弘氏就任。
 - ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に引き下げられ、感染拡大防止ガイドラインを撤廃した。
 - ・東京都中学校総合体育大会の総合開会式は中止。体育大会の縮小化のため、次年度以降の総合開会式の廃止を決定。
 - ・関東中学校体育大会東京開催（軟式野球、水泳競技）。
 - ・全国中学校体育大会東京開催（アイスホッケー）。
 - ・第37回都中体連研究大会（江東区立有明中学校）「主体的・対話的で深い学びを通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力・態度の育成」。
 - ・「各種の運動の特性に触れ、豊かなスポーツライフの実現を図る授業づくり～男女共習における指導と評価の進め方～」都中体連研究奨励校（練馬区立開進第二中学校 令和4・5年度）。

- 令和6年度
- ・関東中学校体育大会東京開催（テニス・陸上競技）。
 - ・第38回都中体連研究大会（文京区民センター）「主体的・対話的で深い学びを通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力・態度の育成」。

- ・「主体的・対話的で深い学びを通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成する保健体育の授業づくり～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るための教育DXの取組～」都中体連研究奨励校（世田谷区立弦巻中学校 令和5・6年度）。

令和7年度 ・第36代会長に小川高弘氏就任。第25代理事長に平山公紀氏就任。

- ・関東中学校体育大会東京開催（体操競技・新体操・剣道）。
- ・第38回都中体連研究大会（中野区立中野中学校）「主体的・対話的で深い学びを通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力・態度の育成」。
- ・「学校教育全体で取り組む生徒の体力向上と健康教育 ～個別最適な学びを実現する～」都中体連研究奨励校（中野区立中野中学校 令和6・7年度）。
- ・大会参加費上限の値上げ
 - 団体1チーム9,000円まで 個人1人2,000円まで
 - ダブルス1組3,000円まで リレー1チーム3,000円まで